

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-109)、
廃棄物管理施設(84)、MOX燃料加工施設(2-68))」

2. 日時:令和5年10月20日(金)10時00分~12時00分

3. 場所:原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審
査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専
門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他5名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から当日提出資料に基づ
き、今後の進め方について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・申請対象設備に係る具体的な設備等の設計に関する説明については、構造
設計等と評価との関連を竜巻防護、溢水防護等を中心に整理してガイドを
整備し、12月の審査会合で再処理施設及び廃棄物管理施設での構造設計
等の説明が始められるように計画的に進める。評価に関しては、説明方法
を類型して整理するなど、基本的な方針をまずは説明する。
- ・耐震設計のうち入力地震動の策定については、課題認識に相違がないか、
具体の対応方針や進捗状況を整理して説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

「今後の進め方」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	育成です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。本日のヒアリングは、令和4年12月29日に申請があった、最初施設管理施設の設工認申請、
0:00:14	あとは令和5年2月の申請なんかも、設のSS本イシイ
0:00:22	ということでまた本日提出の資料をもとに、ヒアリング、
0:00:26	ます。まず出席者ですけども、本庁からオノヤマグチカミデ。
0:00:34	上江洲からハバサキキシノコサク行がオオハシフジワライ。
0:00:42	以上です。それでは日本原燃から出席者と、使用評価、
0:00:49	します。
0:00:51	はい。日本原燃事務局の中浜でございます。
0:00:55	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:59	Steeringチームより、ケットク、
0:01:02	ハセガワノモト。
0:01:04	イシグロ。
0:01:05	タカヤ。
0:01:07	イシハラ。
0:01:08	あと6ヶ所より、MOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:14	本日ご確認いただきます資料ですけども、先ほどご紹介ありました、本日提出差し上げました、今後の説明方、
0:01:23	についてご確認いただきたいと思っております。
0:01:27	それでは説明の方、開始させていただきます。よろしく申し上げます。
0:01:31	すいません、規制庁カミデですけどその前に、
0:01:35	今日出てきた資料で、前回から変更点がどうなって、どう示されているのかなと、下線で引かれてるところもあれば、ないような感じもして、まずそこを最初に説明してもらっていいですか。
0:01:50	はい。弓削ニシダでございます。そうですね。そういう意味では
0:01:54	1から3-1までは、河川用いた部分が、今回変更した部分になります。あとは
0:02:05	2ページ目の別添に示したところは別添2が前回から変わってますので中身的には変更と言いながらも本文上は特に下線を引いてません。サポート事業、すいませんですね。はい、兵藤でございます。前回からの変更点のところの下線を引き、

0:02:22	忘れております。変更点になっておりますのは両括弧 1 のパートになりまして、両括弧 2 回目の両括弧 4 は、変更なしというステータスになってございます。以上でございます。
0:02:32	はい、規制庁カミヤアトベても、はい。あれです、別添は別添 1 につきましては、間野蘭々というページが特に色つけてませんので、
0:02:43	添 1-5 分の 2 イトカワ大井になっているところが、前回からヒアリングが追加になっている部分。
0:02:51	あと 5 分の 4 とご存知の方は、3 年審議になってます。はい。
0:03:01	はい。成長別添にはもう地域、地域というか、思います。
0:03:09	はい。わかりました。
0:03:14	はい、新美でございます。それでは本日提出の今後の進め方の資料に基づきまして、状況説明をさせていただきます。
0:03:24	一番は特段変更はございません。2 ポツの審査会合での説明方針については、10 月の審査会合をやらしていただいて、この後ということで、11 月は、
0:03:38	前回までお話ししたものに加えてあと 12 月と、
0:03:42	ということで、次のスポーツ等やっていくのかということで、1 ポツ 2 ポツそれぞれ書いております。
0:03:50	ただこれも全体的には、右下、
0:03:59	あの、6 ページ、7 ページで、どうやって進めていくかで、12 月のアイテムは、
0:04:07	変わるかなあとと思ってまして正直まだ決めかねるところです。そういう意味でケースを二つ、6 ページ、7 ページでつけさせていただきます。
0:04:19	6 ページ 7 ページの説明に行きますと 6 ページ、今進んでいる、来週 24 日、ヒアリングさせていただきますガイドの話であったり、
0:04:29	前回審査会合でやらしていただいた MOX の説明グループ 1 をブラッシュアップしていくと、ということに加えて、最初の共通につなげるためにということもあって、
0:04:40	SA の要求事項の整理ですとか D の設計項目の整理、ESA の紐づけとこのを今後やっていくということでヒアリングをセットさせていただいているところでございます。
0:04:51	こういうことをやっているのは共通上位の資料 2 だったりを作るためのベースだと思って、作業をしております、今後この共通につなげていくと。
0:05:01	ということで考えてます。これを今考えて相手手を積み上げていって殊、11 月中旬以降に共通時というのをお見せするような形になると。

0:05:12	というのがまず思っているところなんです、
0:05:15	果たしてこの状態で、共通輸入をいきなり作ってお示しすることができるかというところに若干お考えがしまして、
0:05:23	ケース 2 と書いてるのが 5 分の 5 にございます。
0:05:26	共通データを作るにあたって今挙げてる項目以外に、ベースとして作り込んでいけないといけないことがまだあるんじゃないのかと。
0:05:36	そういうことをやった上で共通に結びつけていく方が、積み上げ方式なんですかねということをやっていた方が、共通 12 としてのレベルもある程度のものになるのではないかなと思ってます。
0:05:49	そういう意味で今、5 分の 5 ページ右下 7 ページで、青い四角が先ほど 6 ページ目にあった四角それに緑をまたしています。
0:05:58	この未来が何かというのは、この間の審査会合でも複数、図でも説明させていただきました資料 3 の②でいう、具体的な構造設計等の説明をどうやっていくのかと。
0:06:12	いうこと、条文間の関係性も含めて、どういうふうに整理をして示していくかというベースをですなまず、
0:06:20	ある程度、こういう説明だよねというところを作り込んだ上で、それをもとに、共通中に展開をしていくというステップを終えた方が、
0:06:32	より
0:06:33	確度の高いとかある程度レベルの共通につなげられるんじゃないかなっていうことが
0:06:39	我々が述べレベル感としてあるんじゃないかと思っていてこの緑を、
0:06:45	足して、ある程度ステップを入れて、共通中に結びつけていくというやり方が、
0:06:51	もうあるんじゃないかと思っているところでございますこれをそれと、当然この緑のスペースが入りますんで共通 12 としてのパッケージを示すタイミングが若干後ろにずれると、
0:07:01	いう感じかなっていうふうに思っ。
0:07:04	いうことです。またこれも自分たちの身の丈だったり今の作業スケジュールを考えてより具体的にいつどういうものが示せるか。
0:07:14	いうのをやる、具体化する必要はありますけども、
0:07:17	このケース 1 ケース 2、こちらでいこうかということも含めて考えているところということでございます。
0:07:24	はい。
0:07:26	ただいま、本文戻っていただきまして 3 ポツ 1 はあくまで、その出だしの、先ほど 7 ページであった青い枠の部分だけ今、表示に変えている状態にすぎないというところですけども、今後、

0:07:39	先ほどのケースをどちらでいくかも含めて考えた上で、より個々に具体的なアクションを起こしていくということが必要だというふうに思っております。
0:07:49	はい。
0:07:51	はい。失業中 3 ポツの大変関係入力意見の策定の進め方のところのご説明でございます。先ほど申し上げましたように前回化学変更点は評価区域のところでございます、
0:08:03	前回の進め方についても申し上げておりましたけれどもここまでの耐震建物 08 のですね、いたしましたコメント等も踏まえた修正方針を、
0:08:13	今週を策定してスケジュールを提示するというふうに申し上げておりました。その内容を書いております。まず一つ目の矢羽根でございますけれどもニシウラ島に対する検討内容追加のこの手術は本日をさせていただきます、
0:08:27	10 月 3 日にヒアリングを申し込まさせていただいているところということでございます。
0:08:32	それから、この 10 月 6 日 10 日に、ヒアリングいただきましたこととそれから次 2 ヒライ千葉について 30 日にヒアリングいただきますけれども、このときの議論を踏まえた耐震建物アラマキの修正ですけれども、
0:08:46	これの修正のステップはですねここを書いておりますから定例のステップでやりたいというふうに考えてございます。まず、このヒアリング 10 月 6 日 10 日にいただいております、要件と移行の技術的検討これを 10 月 30 日、
0:09:01	までに実施いたしまして、そのあとに、その資料化、及び 10 月 3 日にいただいたその検討の合流と。
0:09:10	それから、それについての有識者含めたレビューをしてイソベ踏まえた追加検討と資料反映といったようなステップをやると思っております、結論から申して結論を申しますと、
0:09:21	この反映版は 11 月 20 日に資料を提出して、11 月 29 日に、ヒアリングを申し込まさせていただきたいというふうに考えているところでございます。変更点のご説明、以上でございます。
0:09:38	はい。姫野インダでございます。あとすいません私が説明するの飛ばします。
0:09:43	右下 19 ページ、来週再来週か。23 日に、目次の説明グループ 1 を 26、21、
0:09:55	をさせていただくことで、質問させていただきます。
0:09:59	これはもう正直、私が

0:10:03	個別の報告を出す前にちゃんと整理をして出さないといけないところが十分でなかったと思っています。
0:10:10	19 ページ 20 ページにあるのは、耐震で、個別補足として、菅、今回の第 2 回のMOX設工認で関係するようなものをピックアップし、
0:10:23	かつ、当初
0:10:26	資料 2 の、
0:10:28	番号 2-1 になってます。個別補足を並べてこれが 1 ですが 2-1 のステップですが 2-2 ですかという整理をした上で、2-1 だったり 1 に該当するものは、資料 3 の時に合わせて説明しますと。
0:10:43	いうことをしてました。ただ中身を見ていくと、明らかに 2-1 ではないなど、2-2 の評価のポイントで説明すべきものだなというの、紛れ込んでいたのもあって今一度整理をさせていただいたということと、
0:10:57	あとは補足説明資料が全体のパッケージ出た時に再処理の内容も大分入っていて、今回、MOXで説明する対象がどこかということが非常にわかりにくい状態になってましたので、
0:11:09	19 ページ 20 ページでお書き示させていただいた考え方をもとに、以前海田した保全個別補足説明資料の対象になるものにですね、
0:11:20	ここが今回の目次の共通ルールを説明するにあたって必要な個別補足の対象箇所ですというのを明示をしたものを、23 日共通中にお渡する時に合わせて、
0:11:32	セットで提出をさせていただこうと思っております。
0:11:36	はい。加えて、19 ページとか耐震建物でも 1 これ今、まだ出てませんで 23 日に間に合わないものは、11 月 6 日に、これ頭側説明資料として提出をさせていただくということで、
0:11:50	予定を組んでいるというところでございます。
0:11:54	はい。本文、別添 1、参考 2 の説明以上でございます。
0:12:00	はい、規制庁上津では、本文の 1 ポツ、2 ポツ 3 ポツ 1 ぐらい、あとは、別添 1 ぐらいまででちょっと確認を。
0:12:11	まずけど、ちょっと最初に
0:12:16	6 ページ、7 ページで、ケース①、②で、これで共通中に作成したと。
0:12:23	これは再処理、MOXは別に、
0:12:31	はい。
0:12:33	規制庁側からこの辺り確認があればお願いします。
0:12:41	フジワラ、規制庁の藤原です。
0:12:43	2 ポツと 3 ポツあたりに関係するんですけど、

0:12:48	ブライドグループの設定について、まず、2 ポツのところ、12 月の会合で、グループ 1 の、
0:12:58	説明グループ 1 についての話をさっきの別添でどうするかみたいな話がありましたけどそう書かれていて、その前提にはそのグループの設定ができてなきゃいけないと思うんですけど、2 ページ目の一つの大山尾。
0:13:12	一つ目。
0:13:13	見ても、何か進め方がわからない状況で、ていう感じなんですけどこの辺の進め方ってどう考えられてるのか、説明していただけますか。
0:13:25	はい、弓削西様でございますはい。
0:13:31	はい。それも、確かにそうですね本文に反映をうまく、ケース 1 ケース 2 を作った結果過ぎます私がうまく、
0:13:37	反映できなかつたですね 6 ページで言う、点線で青い枠から記載において、設計説明分類説明グループの設定というのが書いてますこれ
0:13:48	おっしゃっていただいて、前回、審査会合でやっていろいろ指摘を受けているところを、この上の青い四角の中で整理をした結果も踏まえて、反映をしていくというステップが、
0:14:01	入ります。それはこの青枠のヒアリングの後に、色づけをして、具体的な日付を設定させていただきます。
0:14:14	規制庁の藤原です。わかりました。あれですかね、23 日に提出される共通 12 の本文とか、参考資料等って書かれてる部分はこの整理はまだ見れないってことですかね。
0:14:26	はい。井手ニシウラでございます。はい。
0:14:31	そうですねまだ間に合っていないので、そこをどこの、
0:14:36	もともと、最初にMOX同時に初めてこのハンドリングが難しいのはわかっていながらやってるので、そこがどういう形でどこに何が反映されるかをもうちょっと具体的に、
0:14:47	スケジュールでもわかるように進めさせていただきたいと思いますはい。
0:14:52	規制庁の藤原ですよろしく申し上げます。とりあえず私から以上です。
0:15:00	はい。他は規制庁側からありますか。
0:15:05	コサクです。
0:15:07	今の分類グループの設定のところというと、
0:15:12	矢印が一
0:15:15	共通 12 と両側になってるんですけど、これってどういう。

0:15:23	はい。人間者でございますはい。設計説明分類説明グループの設定、ボックスと違って、
0:15:32	若干、
0:15:35	ハンドリングが難しいところがあるなというのが正直思ってます、説明グループ1から要約しになってるのは説明グループを一応積み上げた時点で、やはりフィードバックをかける部分があるんじゃないかなと若干思った部分を、
0:15:50	領野融資で表現をさせていただきました。本当にあるかどうかというところはある程度の角度で、当然説明グループの設定をして、説明グループ1で何を説明するかっていうのを決めて、共通に展開していくので、
0:16:04	大きくそんな呼び戻しがあるとは思ってないですが、
0:16:08	何らかフィードバックがあるかもしれないということを考えてようやく牛尾付けさせていただきました。
0:16:17	と、
0:16:18	ですけど
0:16:22	具体用地の資料12を精査して、
0:16:28	っていうのを、
0:16:31	反映するのは反映するのは当然なんですけど、
0:16:34	ここで書いている
0:16:37	分類グループの設定っていうタスクが何なのかっていうのがよくわからなくて、
0:16:42	共通12本分っていうことだったら
0:16:47	そうなのかもしれないけど、
0:16:51	これがその共通12を整備をしていくというふうにあたる前段としての、
0:16:58	説明なり整理と、
0:17:01	いう作業なんだとしたらそこにフィードバックをかける意味もなくてっていう、
0:17:06	ような気がするんですけど。
0:17:09	どこまでのことを考えて、次のヒアリングってどういうものでどうやろうとしてるんですか。
0:17:20	はい、吉江手島でございます。はい。ここはもう一度、そういう意味では、今おっしゃっていただいた、

0:17:26	共通要因を作るに作り上げていくような前段のタスクだと思って書いてますので、おっしゃっていただいたようにそれを、今日通常日程は本文も含めてセットで入るほどの関係でいくと、
0:17:41	良い、フィードバックがかかるってのはやはりおかしな話だという気もしますので、今一度ここはどういうものをアウトプットとして考えているのかということも含めて整理をさせていただきます。
0:17:57	はい。補足です。そうしたときに、
0:18:02	これがまだセットできてないっていうのは、
0:18:06	前回の会合で話をしたようなところでまだ詰めがしきれてないと。
0:18:12	いうことに尽きるんだと思うんですけど、その詰めができていないのはなぜか、詰めるために何が必要かと言う古藤だと思うんですね。
0:18:22	その際 2、矢印が、大本となっている、青、
0:18:32	華道と 09、
0:18:36	活動で設計項目なりで説明すべきことというのがしっかりと分類整理できてないと。
0:18:45	いうことで、分類ではどちらかというとグループの中での説明項目をしっかりと網羅的に示すと、どの言葉がどの範囲まで、
0:18:56	含めているのかという認識を合わせていくっていう作業が、元ができてないことによって進んでいないと言う古藤なんだと理解をしますけど。
0:19:11	そういう認識ではいいですよ。はい。米ニシダでございます。はい。まずおっしゃっていただいている通りだと思ってます。
0:19:19	おっしゃっていただいたように特に青カトウが取れてる青い枠ですねこの中にあいてるSAの要求事項の整理であったり、D、E等整理あとDB SAの紐付けも含めた、
0:19:32	応援の項目出しっていうのがちゃんと各この各項目ごとがどの要求と紐づいていてどこまでの範囲を示しているのかというのをちゃんと整理をするということが必要なアクションだと思ってます。それができないと。
0:19:46	最終的にこの下の部分の設計説明グループで、それぞれ何を説明するかが確定しないというふうに思ってます。
0:19:56	はい。
0:19:57	不足です。で、そういう作業はしつつも、ただ、
0:20:05	いうその作業は、どちらかというと具体に入っていくって細分化していく方向の話なんですけど、セアノグループの設定で、話題にしてるのは細分化というよりはそれは結局どういう集合体なのか、
0:20:21	どこの範囲までなのっていうことであってあまり細分化しなくとも、
0:20:28	全体としてはこういう訳の中整理をしていきます。この部分を、

0:20:33	グループ幾つでこの部分がこれ理屈でなぜならば、ぐらいが言えればいいと。
0:20:39	いうことであって、
0:20:41	ヒアリング呉での議論は、今日通常 2 本分の表があれば、
0:20:50	できる、この間の会合の資料レベルあればいいということ
0:21:00	この文言がどこまで入ってんのっていうのを細かく見ようとするとその条文の資料 2 だったり何なりを見なきゃいけないことになる。
0:21:08	ですけど、
0:21:09	そこは具体どういうふうにやって幾つですか。
0:21:18	はい、宮城西田でございますはい。先ほどの、どういったアウトプットを考えているかということも含めて整理が必要だというのが
0:21:28	まさしく今のご指摘の部分の回答かなと思ってますので、
0:21:32	そこ、今一度整理をします具体的には共通イデの本文アトベってんで、内容はカバーできると思ってまして、
0:21:43	ただそれをどのタイミングで、反映をし修正をしてお出しをしてヒアリングをするかと、いうことが、
0:21:53	MOXでのその共通中に、1 から 3、資料 1 から 3 の本部へのフィードバックを、をやらないというのと含めて、全体のアクションが、
0:22:03	どういうスケジュール感で進められるかっていうところの整理が、私が自信ができてないから、結果こうなってるんだと思ってますので、その整理をさせていただきます。
0:22:17	はい。補足ですよろしくお願いいたします。
0:22:20	前回会合で、この部分で議論が必要なことっていうのは、
0:22:26	すでに指摘をしていると思いますので、そこがつぶし込めるような、
0:22:32	いうことで対応よろしくお願いいたします。
0:22:40	大枠としては 7 ページの緑の枠を入れるか入れないかっていうだけの花Cのように思うんですけど、それがアウトプット、
0:22:50	とする等、11 月中旬から 12 月中旬に、
0:22:54	大きくずれると。
0:22:56	いうことで、
0:23:03	なってるんですけど緑枠って 1 ヶ月もかかる作業で、
0:23:08	共通 12、
0:23:10	そんだけの影響を与えるものなんですか。
0:23:13	で、
0:23:14	だとすとすると、
0:23:16	6 ページの作業手本

0:23:18	ごとに実現可能なケースなんですか。
0:23:21	というのが全くもってわからないんですけど。
0:23:25	現状どうなってるんですか。
0:23:29	はい、西田でございます。はい。
0:23:34	おっしゃっていただいているところが正しく今の状況を踏まえて、
0:23:39	現実的に本当にどこまでできるんだっていうのが頭をいろいろ内田めぐりと。
0:23:45	6 ページが本当に実現可能なのかっていうところと、身の丈が実際はどこなんだというところの関係で、丸々1ヶ月ずれてるというふうには、アノニイズ。
0:23:56	ずれて出してしまったというふうに認識をしています。正直、緑の枠が1ヶ月もかかるとは思いません。そこは、
0:24:04	かつ、緑の枠は、1ヶ月もかかるっていうよりもまずベースとして共通所に本来入る話をしようとしているので、そこも含めて、
0:24:18	どういう状況なのかってことだと思うんですけど、11月中旬に資料1から3、説明グループ1ですね最初に廃棄物管理施設の
0:24:29	そろえるのは、目標としては当然掲げてやっていますが技術的に厳しいんじゃないかなというのが正直あるところをもって、考えてます。それは、
0:24:41	一つは、共通12の資料2だったり資料3の形が、MOXでもどんどんどんどん形がなんていうか、追加されたり、
0:24:52	レベルが変わったりとかいうのもあってそれを丸々うまく反映するとなると、やっぱり時間がかかるなということもあってですね、どこで線引きをしようかっていうところも悩んでいるところではあります。
0:25:09	コサクです。ですね、緑枠の作業をする際には、
0:25:17	当然のごとく共通12の資料2資料3が、作業はされていてそこで、作業方針としての悩みなり、調整してせ、
0:25:29	整理をしておくことっていうのが出てきているから、
0:25:35	ヒアリングはセットできると。
0:25:37	ということだと思っていて、
0:25:40	そうだとすると、ヒアリングで確定したら、資料23というものを編集作業を一気に進められてっていう古藤だと思うので、
0:25:55	こんな1ヶ月の
0:25:57	ずれるってことはないんだろうなと思っていてですね、11月中旬にヒアリングができるということであれば、
0:26:06	少なくとも、

0:26:08	12月上旬には提示でしょうし、もし、状況によれば11月下旬でもいいんじゃない。
0:26:17	いう気がしてます。それもその11月中にその制度のものができらるんであればってことなんですけど、ていうのもう12月の会合で出したいというふうに、最初のページで言われているので、
0:26:33	であれば、中旬提出では遅いんですよね。はい。ゼロベースの会合をやるつもりですかってことになるんで、
0:26:42	12月は今20日ぐらいを、
0:26:49	にしたいなというふうに思っ
0:26:51	ていてですね。
0:26:54	となると、遅くても上旬には1回出していただいてヒアリングしたという、
0:27:01	プロセスを踏むんじゃないのかということなんです。という意味で、この緑の差、作業状況なり、
0:27:11	12、11月中旬っていうようなところはいかがなものなんでしょうか。
0:27:18	はい、西田でございます。まず緑の枠は今おっしゃっていただいたことだと思ってまして、
0:27:27	資料3-②なり、資料3で-01だったりの、
0:27:33	説明の仕方を考えたときにこういうところはどうしようかということ懸念事項をですね、整理をして、お話をさせていただくと。
0:27:43	ということでそれは11月10日は、現状考えてもいいけるとは思ってますが、そこも含めて、全体スケジュール今審査会后12月の審査会合のイメージもお伝え教えていただいたので、
0:27:57	それも考えて、全体のスケジュール感を考えていきたいと思えます。はい。
0:28:05	はい、蘇武ですよろしくお願ひします特にグループ1は、対策設備はもうすでに2素案はできているわけで、それに関連条文追加をしていくということですからその追加にあたり、
0:28:21	プラス検討が必要なことがあるかないか。
0:28:25	対策設備以外のもので、対策設備での知見なり、MOXでの知見を踏まえつつ、プラス議論しなきゃいけないことっていうのを抽出して、対応方針を整理すればいいだけなので、
0:28:37	さほどの量はないと思えますし
0:28:41	悩み事項ってそんなに大きくはないと思うので、中旬とは言わずにもっとでき、早くできんじゃないのっていう気もしますし、よく整理をして次回説明いただければと思えます。
0:28:55	はい、南野石田でございますはい。ありがとうございます。はい。今いただいたものも含めて、再度検討してお出しをしたいと思えます。はい。

0:29:06	はい。コサクです。もう1点そのさ、さかのぼってになっちゃうんですけど、溢水竜巻のものを、この図ではセットで、
0:29:17	11日提出したものを24日日やでって、もうこれもカラーになってるんであれですけど、
0:29:25	進めていくようなつもりに書いていますが、
0:29:30	今も申し上げたように、竜巻のグループ1の関係はサポートの論点はなく、溢水の方は、これではまだまだ駄目だねっていうような状態かなと思う。
0:29:41	ていて、
0:29:42	具体は来週のヒアリングですけど、
0:29:48	入口からしっかりと議論をして、イメージを合わせないといけないかなっていうふうに思ってるん。
0:29:55	ですね。
0:29:56	そのあたりの進め方とかの認識もちょっとお話しいただければと思います。
0:30:02	はい。乳井西様でございます。はい。さっきいただいているまず竜巻がそれほど
0:30:12	大きな調整が必要な事項がないというのはおっしゃっていただいている通りだと思います
0:30:20	ここ溢水の方は、今回添付1だったかな、2、いろいろと設計項目を変えてこういうことを示しますって書いてあるんですけど、
0:30:31	具体のイメージが
0:30:34	全く掴めないものがあったり、本当にこれ全部入ってるのかっていうところが気になる部分があったり、あるのは、正直おっしゃっていただいている部分の懸念かなと思ってまして、そういうところを、
0:30:46	どうやって見える化していこうかと、イメージを合わせていこうかというのが必要かなと思ってます。
0:30:53	基本的には具体的に例えば配置設計でこういうことを示しますって時に、例示的にこういう情報を入れたものが、まさしくここで、
0:31:04	一行でさっと書いているものの意図ですというのがわかるような、資料をつけて、
0:31:11	積み上げていかないといけないかなというのが、1セガワの課題かなと思ってます。はい。
0:31:22	古作です。
0:31:23	ですね、来週だと、火曜日2強通常に作成が移動、水曜日に着いた津野木戸。

0:31:31	いう予定になっていて、今言っていた配置設計で何を説明するのかシステム設計で何を説明するのかっていうそれぞれの資料での関係性っていうのは、共通中に作成が移動。
0:31:47	議論ができるかな火曜日に生きるのできるかなというふうに思って、
0:31:53	です。
0:31:54	共通 12 作成ガイドに今具体は書いてないんですけど、共通上に本文に書いてあるということだと思うので、本文も横に置きながらどうして
0:32:08	っていうところのイメージを話をした上で、水曜日のミツイ竜巻で具体的にその考えに基づくとこはこうじゃないかという話をしてイメージを合わせていければ、
0:32:22	思っていますけど、よろしいですかね。
0:32:25	はい。与儀西田でございます。はい。承知いたしました。はい。
0:32:34	はい。コサクです。
0:32:36	今の話の流れからいくと水曜日は、まず、直近でやらなきゃいけないグループ 1 であるということと論点が少ないということもあって、竜巻でばっとイメージを合わせ、それを踏まえて溢水、
0:32:52	のところに、
0:32:55	していくっていうことでもいいですかね。はい。宮城ニシダでございます。はい。
0:33:01	先ほどの 24 のガイドのところの役割分担をしてということであればおっしゃっていただいたように、25 日の方が、竜巻をまず、ちゃんと整理をしていく。
0:33:12	いうことを先にやろうということで、
0:33:15	おっしゃっていただいている方がいいかと思います。はい。
0:33:19	はい。昨日、わかりました。
0:33:23	それで言うと竜巻にあまり時間をかけずにしっかりとポイントを使った上で、溢水はじっくりやりたいなというところがありますのでよろしくお願い致します。
0:33:39	それでいうと、ちょっと水曜日の竜巻の前座的なところではありますが、
0:33:48	分類、
0:33:50	間で関連性を持たせ、
0:33:53	あるものはまとめて説明をする。その時の代表はどれでという話をずっとしてですね。
0:34:00	その話が今回の資料で見えなくなってきちゃっていて、その点は改めて、

0:34:09	どうしていくんだっていうことは水曜日に話をさせていただきたいと思うんですけどよろしいですかね。
0:34:16	はい。峰志田でございますはい。
0:34:20	おっしゃっていただいている通りの部分、市教育所に最終的に作り込む上では
0:34:27	分類間での関係性だったり、類似性だったり、
0:34:31	いう話も必要になりますので今後どう進めていくつもりなのかというのは、水曜日の時点でお話ができるように準備をさせていただきます。
0:34:42	はい。よろしく申し上げます。土肥イシグロさんとしてはどういうつもりで、この資料作りって何かを可能流れに合わせなきゃ整合取らなきゃっていうので埋もれちゃって失念してたと。
0:34:56	イシイです。実現してるということで全くなくてですね、今回これAとDの整理をさせていただいているんですけども、
0:35:06	今、SAの方から、凍土の抜粋の生活マニュアル竜巻というふうに、
0:35:13	条文の整理を、業績本数整理をしていて、
0:35:17	それをDBですよ。
0:35:21	バインドして、
0:35:22	その結果を含めて、
0:35:24	代表決めていくっていうことで、
0:35:27	一旦ちょっとそこですね、オク必要があるかなと思ひまして、その整理ができたなら速やかにお出しさせていただくという段取りを考えておりました。
0:35:36	以上です。
0:35:40	古作ですだとする等、対応方針の資料ではそれをどういうふうに書いて、そのステップを踏むと、どういうことにしました。
0:35:52	医療法人の資料では、
0:35:53	人間のイシグロです。
0:35:57	1-1-1、1-1-1-3 というふうに書かせていただいています、
0:36:04	今回のこの資料が1-1に該当するものという理解をしまして、この1-3につきましては、
0:36:13	ヒアリング後にですね、
0:36:16	ヒアリングのタイミングかもしれませんが、いつオダするかっていう相談をさせていただくものというふうに理解しており、
0:36:23	ます。
0:36:24	以上です。コサクです。

0:36:27	1-2121-3 っていうのは何を言ってるんだかわかんないんですけど、12日に提出をいただいたやつはもう一度1しかないんですよ、0010203ですね。
0:36:38	すいません、おっしゃっていただいたように②と③が今調整中になっちゃってるので、本来であれば
0:36:46	①②③のリンケージ、どういう順番でどういうものを出していくのか、日付は確定しないにしてもその順番をちゃんと
0:36:56	多分示していかないといけないということかと思います。
0:37:00	丸井田丸さんがそもそも両方が調整中だとどっちがどっちなのかよくわからないですよなってところですね。
0:37:06	はい。そこをどういうステップでやっていくつもりなのかっていうところ。あとは先ほどの共通12での懸念事項の整理であったり、
0:37:18	共通要因本体を出すときのあのタイミングであったりとの関係も含めて、このスケジュールが成立しているということを多分、我々としては説明する。
0:37:28	必要があるのでそこも明示させていただきます。はい。
0:37:33	はい、そうです。わかりました。これで言うと0102035と2、ヒアリング資料作るとか。
0:37:41	ということなので一旦、
0:37:44	これまでやっていたものは丸さん側の対応だから、見えなくなっていてっていうのはイングロさんの言われたことですか。
0:37:55	はい。おっしゃる通りです。
0:38:01	古作です。何。
0:38:05	トラックはわかりましたけど、
0:38:10	エートー
0:38:15	①をやってるのか、から徐々に情報を追加していくっていう感じになるんで、
0:38:22	①の段階で見え、
0:38:25	外宮切っとなかと思うものもあるような気がするんで、ちょっとそこは
0:38:32	丸さんが出ますということではなく、っていう方がいいかなという気もして
	いてですね、ちょっと水曜日に活動していくかは、お話をできればと思います。
0:38:45	集まりました。
0:38:58	政調会です。
0:39:00	他、
0:39:01	になければなければという規制庁コサクです。あとはSAの関係は、

0:39:10	等、
0:39:11	ヒアリングは、
0:39:15	ガイドと一緒に火曜日と、
0:39:17	いうことに、
0:39:21	なってますけど、
0:39:24	と、こっち欄も、
0:39:28	今日の作り込みとかがあまり意図が伝わらない感じになっていたりするので、根本的にどうそれぞれ整理をしていくんだという考えを、
0:39:41	確認させてもらって、
0:39:45	ぱっと作業して、次のステップに進めるようにと。
0:39:49	いうふうにしていきたいなと思ってますので火曜日、体制を組んでですね、しっかりと作業まで展開できるような、ということで準備していただければ、
0:40:01	以上です。
0:40:04	はい、弓削西田でございますはい、ありがとうございます。はい。火曜日のSAの関係も体制、しっかりとその場で、こういうふうに直し直すっていう方向性が、
0:40:14	説明できるような体制とあと作業の体制も、確かにこれが遅れる等次のステップがまた遅れていきますんで、速やかに反映してはどんどん渡していけるように、
0:40:25	させていただきます。はい。
0:40:30	はい。補足ですよろしくお願ひしますその作業もですね、共通中に作成ガイドにのっとなってっていうところの意識が必要かなというふうに思っているんで、ちょうど火曜日、両面で、
0:40:43	ヒアリングですから
0:40:47	そういう意味でも議論が深められるかなと思っています。
0:40:50	私からは以上です。
0:40:57	はい、規制庁管理です。
0:41:01	そうすると今の話で、7ページ。
0:41:04	のケース2のステップなんだけど、
0:41:09	そんなに時間をかけて、
0:41:13	はい。
0:41:13	規制庁として、
0:41:17	なんか面白い。大丈夫。はい。はい。
0:41:23	その時2Dの設計項目の整理っていうので、耐震化サイトウに展開っていうのが何かよくわかんない。

0:41:30	何かこれ、特に耐震なんですけど制度展開しなきゃいけないでしょう。
0:41:34	はい、西田でございます。はい。
0:41:38	え一つとですね。
0:41:44	ババ海田
0:41:45	各場所、間違いない。
0:41:49	これSEの話じゃないですか。はい。すいません。ごめんなさい私が書く場所を間違えました。今回SAの整理を、SAの要求事項と、DBとフォーラムの話を書いているんですけど、今
0:42:03	耐震の関係とか火災とか他の要求に飛ばしてるものが一切今評定出なくてですね、その辺の整理もしておかないといけないということで、書こうと思ったやつをすいません書く場所を間違えました。
0:42:16	藤規制庁深見です。
0:42:18	それならそうかという気もしつつ、
0:42:22	それでもックスだけ進むんでしたっけ、それをやらずにもうこそはですね。
0:42:28	はい、弓削西浦でございます。はい。
0:42:32	少なく、
0:42:35	今説明グループの関係で、区切っていけば、MOXを進めることができるかなと思いながら、
0:42:42	はい。が再度関係。
0:42:47	今回ですね、SAで言う、可搬も含めた火災の展開、36条がああ横江同じようにおっしゃるように、30条でも同じようにMOX側でも、加工でもありますし、
0:42:59	あとは一定にSs関係の、耐震との関係性の整理、これもMOXの説明グループ5かな踏まえ前に整理が必要だというふうには思ってますけども、
0:43:12	少なくともその時点で平行に走ることはできるかなと思ってたところでした。
0:43:20	はい。規制庁カミデですまずは設計項目の整理で耐震が後で出てきたら変だなと思って聞いただけなんで、ちょっとそのあとはちょっとあんまり、
0:43:30	イメージが掴めないんですけど、とりあえず、
0:43:33	あと、
0:43:35	が移動は出てきましたけど、
0:43:38	資料2と3の話で、
0:43:42	一井は本文見ればわかるでしょってということなんだと思うんですけど。

0:43:47	最初にもう、資料1っていうのはどういう進捗なんですか。
0:43:52	はい、西田でございます。はい。最初の資料1イマダ、1度も、第2回始まってからお話をしてません。
0:44:02	当然資料2さあ、2、それぞれどんな対象設備が、その設計説明文に入ってるという整理がないと、今この
0:44:12	ベースでやってる作業も進まないのベースの資料1は
0:44:17	ある程度って言い方あれですけど、ベースはでき上がって作業に展開するっていうものにはなってます。
0:44:26	はい、規制庁加茂です。それは何、何で終わらないっていうか何か引っかかっているところなんですか。
0:44:32	はい。乳井ニシウラでございます。
0:44:36	何ていいんでしょう。
0:44:38	共通準備自体をどのパッケージで出すかっていうことなのかと思ってまして。
0:44:44	資料123、ある程度セットで取ってたんで特段資料市単独で出すっていうことも考えてなかったの、今まだ出してないという状態だと思ってます。
0:44:57	あとは当然だから、
0:45:00	あれですかね、第2回の申請的に新申請対策説明書出してますし、それをもとに今、資料23への展開でどの設計説明分類に紐づいてるかって整理もしてますんで、
0:45:13	その上付加したものを、
0:45:15	今野カミデさんがですね資料1でもう先に出せるんじゃないかっていう、
0:45:20	規制庁カミデアノ単純に聞いてるだけで温めています。これだけ、基本はパッケージで出そうと思って温めていますね。近いんですけど。はい。
0:45:31	はい、規制庁。
0:45:34	あコサクです。それで言うと、
0:45:37	温めてるっていうのが本当かっていうのが疑問なのは、
0:45:42	資料1の横軸は、条文だけじゃなくてその内数D設計項目なり、
0:45:49	説明すべき項目。
0:45:52	意図が伝わるように整理をしていって、類型としてのわけ。
0:45:58	ポイントっていうのが、
0:46:00	わかるようにしていくっていうことがあり、なので資料2からの羽根があるから、整合をとって作業しなきゃいけないっていうことだったと思うんですね。
0:46:09	その点で文言が練れてないからこの間の会合で、

0:46:14	後であって、直せがー必要な部分が出てくるんじゃないのかなと思うんですけどいかがですか。
0:46:21	いう名称でございます。そういう意味では、2点、大きく2点あって、資料1の後ろに当然、別添というのがついて申請対象設備リストと、
0:46:32	要求事項とか紐づけていうのがついているアノこ令和先生たちからすると、当然資料23のパッケージが、
0:46:41	できなければある程度の上で、アノがつくれてないというような状況。
0:46:46	プラス、資料1の段階でも、MOXで前氏の宿題になっている。まさしくここで言ってる、7ページの青四角の作業、
0:46:59	これが資料1にフィードバックがかからないといけない部分もあるので、そこが、例えば8条と36条で、同じ自然現象でやることがある。
0:47:10	そこに対して資料1上は丸をつけた上で注書きで、こういう関連性がありますけれども書かないといけないってとこありますけどその作業は、私の時期にこの青枠の作業が終わらないとできない。
0:47:22	いう状態では、
0:47:23	そういった迷惑かけなきゃいけないものがあるっていうのはおっしゃる通りだと思うのでその作業がまだできてないのは、正直そうですね。はい。
0:47:32	はい。コサクです。なのでそういうところをしっかりとやってっていうことが緑枠になったりその下の分類グループの設定っていうところで事前に話をしたいことと、
0:47:44	いうことになるんじゃないのかなと思うので、そういった論点抽出を次回して説明いただければと思います。
0:47:53	はい、乳井ニシウラでございます承知いたしました。
0:47:58	はい。規制庁亀井です。他、
0:48:01	1ポツ253×1.1ぐらいで、
0:48:05	ないですか。
0:48:06	なければ、説明のあったところの耐震の方で話を、
0:48:12	いきたいと思いますが、まず2ページ目の、
0:48:18	スケジュールは、
0:48:19	これずっと
0:48:21	耐震建物は、前回より1週間、
0:48:26	冷やEam日本原燃の方でございます。1週間遅れておっしゃってるのはこのヤギ矢羽根二つ目のこと。
0:48:34	はい。山根二つ目は先週の時には、11月20日って申しあげてましたからおおよそ、1週間半から2週間遅れっていうことになります。

0:48:48	規制庁今です。ハウジョウ 12、11 月でしたけどどこがどうでしたっけとです ね、古山に二つ目の、3 行目のところで 11 月、
0:48:59	資料提出。
0:49:01	先週呉に、目安でここ目がけてますって申し上げた日付が 11 月 10 日 でありました。
0:49:09	ということでございます。だからどれぐらい遅れたのかといたら 10 日 から 10 日間、後出しになってるということでございます。
0:49:17	はい。規制庁上手です。それはどんなここ 1 週間でどんな進展があった んでもしくはもともとがもう本当の仮置だったっていうのもしれないです か。はい。
0:49:28	原因の方でございます。今おっしゃっていただいた通りにもともと仮置だ ということではございました。で、いただいているコメント踏まえてですね
0:49:38	アサノステップを
0:49:42	中にちょっと丁寧にやられたような観点で積み上げた結果がここになっ たということでちょっと今までのですねご提出の時も、レビューきカーンと かレビューの反映とかをちょっとバタバタやっていたというちょっと反省も ありましてそのところを少し丁寧にやりたいなど。
0:49:58	要望額でこういうスケジュールを組ませていただいたということでござい ます。
0:50:02	はい、都築五味です。
0:50:04	そうする等、片括弧 A から D 多く積み上げるとそうになりましたってことなん ですけど、
0:50:13	片括弧 E のよう検討事項というものが、我々と認識が合っていないと、全 国ちゃいますねっていう。そうなんですね。それは、
0:50:24	何か話をした方がいい、いいのか、どんな感じですか。
0:50:28	日本原燃の宇津でございます。ですねこれは、それぞれのヒアリングの 中で、振り返りさせていただいて、その認識は共通のものが具体論と して、ある程度もう取れている。
0:50:44	のかなとは我々思っていて、
0:50:48	あとは、それに沿ってまとめていくのかなというふうには思ってるところ でコサクです。はい。
0:50:58	野本さんすいません、我々としては思ってますっていうのが、認識がず れているからいつも出てきた時になんじゃこりやっていう話になってって いう反省があって Steering チームがいるんで。うん。
0:51:11	わかってると思ってますっていう言い方では、Steering チームとしての 意味がなくて、はい。
0:51:19	もし、

0:51:21	すいません。
0:51:23	資料提示まで1ヶ月かかるということであれば、
0:51:27	この資料の別紙でもいいんですけど、ここで言ってる検討項目事項がどういふものであり進捗がどうか、どういふようなことをレビューで言われたのかと。
0:51:38	それに対して何をしてるのかっていうことを説明いただくようにしたらいいかがですか。
0:51:44	日本原燃の宇都でございます。承知いたしましたそうしますと今の断面では、以前のヒアリングでの振り返りも含めた検討項目ここまではもう我々まとめているところでございます今、こいふふうに作業しようという項目をまとめているところでございますので、
0:52:01	まずはそれをご提示いたしまして、その後ですね、それが規制庁さんのご認識と合ってるかどうかをご確認いただき、その後、進捗を順を追って、またご報告を差し上げるといふようなことになるのかなというふうに考えましたけれども、イメージやっておりますでしょうか。
0:52:22	そうです。亀井さんどうですか。
0:52:24	はい。規制庁神尾です。
0:52:27	そうなんですけど、それを読むと、とは言っても前もそれやってるんですよ。前も似たようなことやっていて、対応方針途中を出してよと言って、進め方ヒラノ前の時に今出てきてパッと見て
0:52:41	何かとりあえず対応方針だけ見ると広岡変えてるんだから何か一応やるって言ってんだなみたいな、出てくると、結局ヒアリングで、前言ったじゃないですかなんてやってないんですね、何回も。
0:52:54	話をしたっていうのは、計画ですからそうならないように、できる打てる手はでも、今言ったような、て暮らしてしっかりやりましょう。承知いたしました。ありがとうございます。承知いたしました。そうしますと、今残念です、作っている対応方針、これ早々にまた提出させていただこうと思います。以上でございます。
0:53:14	はい。規制庁鏡です。ちなみに何か具体のところ規制庁が気になる点とか、お伝えしておいた方がいいと思うんですけど、いかがですか。
0:53:24	いや、規制庁の岸野です。
0:53:27	今のやりとりにも含まれていることなんですけれども、
0:53:31	一つ例示を挙げるとすれば、4因子のうちの一つの岩盤物性、
0:53:38	G14下の、
0:53:41	地盤モデルが断層を挟んで、大きく要素は異なるんだけれども、元はもうPS検層が片方だけでやりますっていう、転売だった。
0:53:52	いえ。

0:53:53	大丈夫なのっていうことは、7月から説明を求めている、
0:53:57	先週10月10日のヒアリング呉。
0:54:01	でも、確認をしたところ、やはりそれにこたえるものの答えるような説明になっていなかったということで、
0:54:08	再度やりとりがあります。で、問題意識は理解したので、再検討しますと言っていつ、
0:54:15	引き取り方で引き取られて、
0:54:18	また次の1ヶ月半の資料提出を待たなきゃいけないという状況ですので、やはり、先ほど言われたようにですね、次の方針で、また同じように違うものが出てきてしまう。
0:54:32	というようなことがないようにですね、できるだけ手戻りを減らすためにも、
0:54:38	今度どういう進め方をするのかとか、途中、
0:54:41	どういう状況になってるのかっていうのは、説明をしていただいて、認識ずれがあれば修正を適宜早いうちにやっておいた方がいいと思いますので、
0:54:50	この件をですね、岩盤物件もしっかりと具体を説明できるように、
0:54:58	追加ヒアリング等になってます。
0:55:00	説明できる準備をお願いできればと思うんですけども、
0:55:05	大丈夫そうですか。
0:55:06	はい。日本原燃野元でございます。今木曾さんからおっしゃっていただいた清吉田のネット断層を挟んだところの一番の話。確かに前のヒアリング時にそういう、
0:55:17	問題意識ですねすいませんちょっと丁寧にお話いただいて我々もちょっと認識違いといいますか検討すべきであるというのは認識、今検討進めているところでございますし、
0:55:27	ちょっとそういうこともきちんとですねこうやっていますので、こうやりますと、いうことを、この対応方針のところにもちょっと書かせていただいて、認識を合わせていただこうと思います。以上でございます。
0:55:43	はい。続いちゃうじゃないですか。
0:55:47	ちゃんと説明できる、お願いできるかと思います。はい。ちなみに、はい。今どういう方向で考え、
0:55:57	日本原燃野元でございます。ちょっと深いところはともかくといたしまして、いただいておりますこのをですね直下の地盤物性につきまして、そのボーリング呉の蘇武清でですねその
0:56:13	建屋の直下の何すか物性を設定して良いのかというのを、それぞれの建屋ごとに、その結果、そのまま使えるのかどうかの適用性をそれぞれ見ていくという検討が今ミッションとしていただいていると思っております。

0:56:30	特に今お話いただきました、このうち 14 のこのところの学生ですね、これを
0:56:39	きちんと検討すべきだというお話もいただいておりますので、この下のですね地質構造ずーと、それからボーリングの位置図を踏まえまして、適用性についてきちんとご説明できるように、提示するというふうに思っております。
0:56:55	すいません。以上でございます。コサクです。ごめんなさい。
0:56:58	野本さん、検討することになってますから検討してますって一言っていうとそれしか説明してなくてですね。はい、端的に回答するように心がけて欲しい。
0:57:10	ですね。はい。
0:57:11	で、検討するなんて当たり前の話で。はい。それは説明になってない。どういせ、検討してるかを言わなきゃいけない。はい。先ほど野地重要な話で言えば、はい。
0:57:24	この間の会合で、
0:57:27	地震観測記録の分析からも、周辺のデータっていうのは、しっかりと向き合わなきゃいけない、反映しなきゃいけないと。
0:57:36	いうことになったと私は思っていて、
0:57:40	もう検討とか言ってるレベルじゃなくて、どう取り入れていくのかっていう話をしてくれないと駄目なんじゃないですか。
0:57:48	日本原燃の郷でございます。はい。おっしゃる通りでしてそれぞれの物性の設定において、適用性をちゃんと判断していただき判断いただき、ごめんなさい。だから適用性とかっていう曖昧な言葉を使うからいつもコミュニケーションがずれるんだって言うてるんですよ。はい。
0:58:07	はい。行政って何ですか、何考えてるんですか。あんまり言いましょよ。日本原燃野本でございます。考えてることを申し上げます。今我々が持ってるデータというのは、それぞれの
0:58:20	建物の近傍及び直近のボーリングに基づく物性データを我々持っているものでございます。それに即して、として決めるというのが、大きな方針ではあるんだけど、
0:58:35	そのそれぞれの地下構造に基づいてそのボーリング呉のアノて設定した物性そのもので、そのそれぞれの建屋の地下を決めていいのかというのは、
0:58:48	それは地下構造に基づいて、それぞれ検討しなくてはならないと、いうことが、今、我々のミッションだと思っていて、それをちゃんと、それぞれのボーリングのデータを適用すべき、適用できるのかどうかそれから、

0:59:04	もし補正をかけなくてははいけないとすれば何をしなくてははいけないとかと いうことを整理するというのが、我々の今のミッションだと思っております。 そういう検討をちゃんと御説明的してあげて、そういうご説明を差し 上げなくちゃいけないという認識で、
0:59:19	おるといふことで、その検討を今回やっている状態にあるといふふうに思 っております。以上でございます。
0:59:28	コサクですけどそれは次 14 で言えば、取り入れる。
0:59:33	方向で、どういふふうに取り入れたらいいのかを検討中と思えばいいで すか。
0:59:38	妹尾とおっしゃいます。
0:59:39	はい。取り入れる。すいません取り入れてはどうかということも含めてで すね、そこはできかどうかであれば、さっさと話をして、こちらべきだと思 ってるんだから。はい。
0:59:52	そんなのグダグダやったら時間の無駄ですよ。うん。おっしゃる通りすね はい承知いたしました。
0:59:58	日本原燃長谷川です。ちょっと
1:00:01	何すかね、対応方針、各ところの皆さん、1 週間っていうんすかね。
1:00:06	ちょっと具体的に書いて、なるべくちょっと認識ずれないようにするという か、そういうふうにしますかね。はい。そうですね。はい。ちょっとそうさし てもらいます。
1:00:17	はい。コサクです。まさにその通りで、
1:00:21	対応方針のメモを作ってくださいことになりましたけどその際に結局今 のような曖昧なことしか書いてなかったり、認識より進まないの、
1:00:31	今お話しいただいたように、議論が進むように、具体をしていただけれ ばといふふうに思ってます。また出していただいた後ですね、議論してい けば飯館がマター変えていく必要があるんだなっていうのが、
1:00:45	ある部分修正していったといふことで認識共有できると思う。
1:00:49	よろしく。
1:00:50	日本原燃の方でございます承知いたしました。
1:00:54	あと、規制庁カミデですけど、今の話を例にメッシュ間で言うと、最初は ノモトさんも検討するか検討します。でもそんなのやめてくださいって話 です。
1:01:04	取り入れって言ったところで、よくわかんなくて、
1:01:09	C-140 にすると、手数 6 断層だったかなアノ断層を走ってる反対側っ ていふのはもうそもそもボーリングがないので、ブッセンを取れないはず だと思う。

1:01:19	だけどそれでも何か工夫をするってことなんですね取り入れるということもしくは取り入れないとしても、検討する場合に、こういうデータを持ってきて、こっち側の、
1:01:34	データもしっかり見ていきますと、その結果
1:01:39	再設定をするのかしらとか、こういう基準で考えますみたいなぐらい書いてもらいたいというのが、こちらの1週間ですから中で相談をして、どこまで、
1:01:49	また出してくれ
1:01:52	ジノノでございます。はい。もう今の検討の方向性まできちんと、ちょっと具体化わかるようにお示するということだというふうに思いました。はい。以上でございます。
1:02:03	はい。規制庁菅です。他、個別の個別性から中身の点で、この辺も気をつけてるみたいな、耐震がオカありますか。
1:02:13	規制庁の岸野です。今のやりとりの中でですね、次14を、こちらが例として言ってるのであって、これだけ説明すればいいということで、
1:02:24	あの、以前からずっと言ってる。
1:02:27	で、それもちゃんと
1:02:28	念頭に置いてます。
1:02:30	他の施設についてもどうするんだっていうところを、説明できる。
1:02:34	しておいていただければと思いますが、認識は合ってますでしょうか。
1:02:38	玄野元でございます。はい。同じ認識でございます。
1:02:42	はい。規制庁野木です。具体的な内容については、
1:02:46	1回ですかね、今後進められる。
1:02:50	確認したいと思いますので準備をお願いします。私から以上です。
1:02:54	辨野でございます承知いたしました。
1:02:58	規制庁カミデです。他なければまたスケジュール的なところの確認で、
1:03:06	3ポツ2の二つ目の矢羽根でいうと12月22なので、一方で西側の減衰は、次の11月の会合についてということなんで、
1:03:18	11月30ヒアリングただけで、会合っていうのもちょっと厳しいっていうのがあって、1個を刻むことを、
1:03:31	が考えられますんでそこは30日で、今日出てきた資料を見て、また30日もお話ができればと思いますけどちょっとその可能性は、考えておいてください。
1:03:42	はい。神野でございます。承知いたしました。
1:03:47	はい、規制庁改造他なければ、後ろの方の19ページの話をしてたり参考2の話をしたいんですけど他、よろしいですか。

1:04:00	規制庁菅です。19 ページの参考 2 って今回つけてもらって、何でかっていうと、共通 12 と一緒ですか。先週の進め方で話をします。
1:04:11	が出てきてこれなんですか。
1:04:14	今日の説明を聞いてもうよくよく
1:04:18	見たら義務 2 でしたみたいな話があるんですけど、
1:04:23	少しでも関係があるという意味でいうと、もっとたくさんあって、2 の生き物にも関係するのって全部関係するんですよ、付則作ってるやつ。
1:04:34	かといって、今その共通 12 を説明する上で必要なのかっていう観点でいうと、そこまでもいらないでしょっていうのもあると思うんですその辺の考え方がよくわからないけれども、
1:04:46	共通 12 頭、僕達間ちょっとでも関係する補足は一緒につくるんだって、やるんだったらいいんですけど手戻りを大きいし、その辺という考え。
1:04:56	はい。弓削西田でございますはい。
1:05:00	おっしゃっていただいたように正直かなり悩んだのは、そこでして共通用についていうものを今回作ってですね、協定の中で説明することと直接関係するようなものなら、
1:05:11	ダイレクトに結びつけて説明すればいいんですけど、
1:05:14	個別補足特に耐震なんかも発電所でやってたやつを、スライドして持ってきてるのがあって、今の共通要因の体系を作った後で見ると、直接うまく結びつかないものが、
1:05:26	多くあります。それを、まずは今共通順位を説明する上でベースで根拠になるようなもので説明しなきゃいけないものは、今回とりあえずピックアップして説明すると。
1:05:39	残ったものをどうするかっていうのは共通要因と直接紐付けなくても何らか説明するタイミングをどっかで設けてということでもやろうかなと思ってますけどそこはどう作戦でいくかっていうのは、
1:05:51	正直まだお示しできてないので、そこも含めて全体像をまずちゃんと。
1:05:55	整理をしてご提示できればと思いますのでさらに、整理を進めたいと思います。
1:06:02	はい。規制庁菅です。ちなみに、
1:06:06	補足、今いっぱいあるじゃないですか、耐震って。
1:06:10	どんな進捗なんですけども、本当はだって、去年の 12 月の申請だから、1 ヶ月後にはっていうのが本当の、
1:06:18	流れがいいんですけど今、一通り、まあまあそ、そろい始めて、そう大体いけてるっていう。
1:06:25	はい。日本原燃車でございます。

1:06:29	100%はできてないですね。全部はできてなくてできてない人たちもいます。ここも正直ベースが、
1:06:39	ウタを出してみたいですけど、
1:06:41	特に耐震の他にもそうですけど、最初にボックスがコラボして作んなきゃいけない補足が結構あって、そのうち、ある部分はできてある部分はできてないとかってそんな状態のステータスが結構多いです。
1:06:57	はい。規制庁、丹治です。大体そろってるって言われれば共通中に何かあれ出す予定、出てくるんでしょうけどそうでもないっていう状況なようなんでそうすると、やっぱり優先順位、
1:07:10	決めてこれは先に作るんだけど、
1:07:13	どう少し考えてもらった話では、
1:07:18	まあ、今、具体で言うんですね。
1:07:20	19 ページにありますけど一番上にあるような耐震建物 01 とか、耐震、2.03。はい。みたいなこれ、まさに 1、1 って書いてあるじゃない。だからもう、
1:07:35	1 錠人物が一体何か申請
1:07:39	の補足です。
1:07:41	こういうのはやめて欲しい。
1:07:44	01 を遅れてみて、
1:07:46	という感じで、それ以外がどこまで行くかっていうと、あんまりって感じですね。で、
1:07:54	例えば 20 ページに、ピッチスパン法の資料なんか、
1:08:01	根井。
1:08:03	会合でも言ったように、GBの単体、直接支持構造物でしょうみたいな話もしましたが、出てきた資料を見てもそこには全然言及してない。
1:08:15	資料ですが
1:08:17	共通順位を説明する上で必要な補足というにはまだ足りてないということですからちょっと中身も踏まえて、必要なものをちゃんと優先をつけて、
1:08:29	はい、早く入れるように、一緒に合わせて見ていくようにということで
1:08:34	進めてもらえる。
1:08:37	はい、西田でございますはい。おっしゃる通りですねちょっと優先順位とあと、ダイレクトに繋がるように、補足の内容も、
1:08:49	変えないといけない部分があると思っておりますので、特に
1:08:54	16 もそうですし、

1:08:57	23 とか 20 億とかみんなハットリ発電で作ってたものを、同じような形で作ってますけど、あとは共通要因でいろんな論点が出てくればそことひもづけるように、補足を作らないと何の意味もないので、
1:09:10	その辺の整理も、させていただいた上で、全体の整理、どういうふうな優先順位でやるかというところの補足を、共通住民との関係性を持った内容に整理をしていくと。
1:09:23	いうことも併せて進めさせていただきます。
1:09:27	はい。規制庁亀井です。あとは出てきたの一応ちらっと見る等
1:09:33	添付っていうんですかね、添付で前は再処理の冷却塔についての影響評価を出したんだけど、モック数分の影響評価ができたんで、つけますとですね。
1:09:46	それも共通中に多分ほとんど関係ないようなもので、
1:09:50	どっちかっていうとなんなら本文だけ脇に置けば、第 1 回作った状態の本部、
1:09:56	があるだけで話が聞けるっていうものもあると思いますから、そこも含めてですね何が何でも新しくして出さなきゃいけない、添付はまた項目の添付はまた今度っていう形で話。
1:10:09	ですからその辺は柔軟にというかパフォーマンスベースで考えてもらえればと思います。
1:10:16	私の方からは以上です。
1:10:20	とコサクです。
1:10:22	細かな話ってあれですけど、
1:10:25	対新規で 23 は 2-1 から 2-2 に変えてるんですけど。
1:10:31	書類名は、設計上の扱ってなあって、
1:10:36	これはどういうものなんですか。
1:10:43	日本原燃の大木でございます。ですね、ここで説明している内容は、この相対変位を、
1:10:54	そうですね。とりあえずに対して、ですね機器に取り付くアノ配管。
1:11:01	に対して、機器と配管の間の相対変位をどういうふうに考えるかということの補足になってまして、これ発電炉の
1:11:12	補足のスライドでつけているものなんですけれども、説明してる中身は、その機器のですね変位量が非常に小さいので、
1:11:24	相対品を逐一設計として見る必要はないということを、キョウヒョウカーをつけながら説明していると、というような内容になっています。

1:11:37	ですので、その物としてこういう配置にしますとか物としてこういう設定にしますとかいう、内容がちょっと含まれていなくてどちらかといえば、物ができた後のコストですヤギの、はい。ごめんなさい。
1:11:55	今の説明からすると私は 2-1 だと思います。はい。日本メジャーでございます。はい。
1:12:03	そういう相対変位を考えなくてもいいぐらいの
1:12:09	ものだと、いうことを、設計で言ったやつと根拠がこれですって言われたらイノウエたんでしょうね。そう。
1:12:17	その評価結果の示し方がこうですみたいなやつを示しながら、
1:12:24	すいません。だけど、野本さんの説明をそのまま聞くと二ノイチですって答えしかない。この辺もちょっと中身見て、ちょっと 2-1、2-2 はもう一度、整理をして後は、
1:12:36	どの部分の中身が本当に、直接共通順位の設計方針との関係性でいいのかっていうのも含めて整理をしますはい。
1:12:51	はい。補足ですよろしくお願いします。
1:12:54	最初にかミデからあったようにどれぐを、どの関係でっていうのを整理をする際に、今みたいところでこういうものはとか、何か考え方の整理
1:13:07	ペーパーで作られる感じですか。宮城西田でございますはい。作らないと駄目だなと思ってますので、整理しそれを多分まず説明を、
1:13:18	させていただいた方がいいのかもしれませんがそこがずれていると結局みんなソーティングが出てくるので、
1:13:24	正直今は、
1:13:28	それも資料 3 の①とか構造設計をどういう部分を説明したいんですか、これに対して何らか根拠なりが必要ですかと。
1:13:39	いうところも含めて整理をしないといけないのでちょっと考え方は整理します。市の中でも、例えばですけど評価部位の選定みたいな、
1:13:48	やつ、その評価上をどういうところにすればいいかみたいな、個別補足があると。
1:13:54	大体みんな 85%ぐらいは、2-2 だと。
1:13:58	いうんですけど、アノとはいえ、評価上をそういうところにするよってことを前提に、構造設計上何らか設計として配慮事項があるのであれば、
1:14:09	2-1 で説明をしないといけない、要は資料 3 の①でも言わないといけないでしょうと、そうするとこの個別補足って二ノイチじゃないのっていう、
1:14:17	んなのかなと私自身は思っているんですけどその辺がうまく割り切れるかなってところが、
1:14:23	これが先ほど神谷さんの質問最初答えた通り、

1:14:28	正直ですけどハタの世代として持ってきてその通りの形で作っている部分、大分
1:14:35	バランスが悪いとかそうなりきれてないところを直していかないと、そういう顔つきにならないところが多々あるなと思ってるところです。
1:14:48	はい、細田です。な考え方を整理をして対応いただけるということなので、まずそれを見たい。
1:14:55	明日で
1:14:57	発電炉の実績を踏まえてスライドして作ってるっていうのも、
1:15:02	明示的に書いてはいないけど、趣旨はそういうことで作られてるはずなんですわね。
1:15:09	それが読み解けるように、最初の前文だとか、概要とかですわね、ある最初の説明方針みたいなのところを
1:15:18	明示的に書けば、後ろの方を細かく直す必要はないんじゃないかなっていうふうに思いますので、あんまり
1:15:26	頑張って作業をふやさないようにしていただいたらいいかと思います。
1:15:31	はい、西原でございますはい。ありがとうございます。はい。そういう趣旨も踏まえて、整理をしていきます。はい。
1:15:41	はい、規制庁神栖他耐震関係でありますか。
1:15:48	はい。特になければ、
1:15:51	1.2 ですよ。はい。はい。
1:15:54	はい。
1:15:55	平でございます。右下 8 ページから別添 2 ということで、数がなかなかうまく進まなくて、
1:16:04	ございます。
1:16:05	刀禰甲斐のやりとりを踏まえてあまり全体をいきなりやっても、我々のミナミカワないので、一つずつ潰していこうかなということで、
1:16:15	右下 9 ページ、大きく資料 4 の中で整理をしなきゃいけない 123 と、項目をまずちゃんと連絡抽出をして整理をしていくということ。
1:16:25	等、重視したものに対して、プロセスであったり添付書類の体系を整理するということ。
1:16:32	あとそれに基づいて、評価方法ダテ評価条件等についての設定の考え方を整理をしていくと、いう大きく三つのステップがあるかな。まず 1 をちゃんとやろうということで市の考え方を整理してきたというのが現状でございます。
1:16:47	10 ページを見ていただきますと、一部をどうやってやろうかなと考えたときに、

1:16:55	大きく二つ二つの視点があるかなと思ってまして、一つ目は、前々からお話している通り資料 2 の設計項目の評価と言っているもの。
1:17:06	これをちゃんと全部抜き出していくということ。これで、解析評価のステージに持ち上げなきゃいけないものは、ガイドであったり、共通情報本体にも示してありますが評価というものをちゃんと
1:17:21	基本設計方針の要求事項を踏まえて抜き出してくると。
1:17:24	いうことができていれば、ここで全部が、まずは一旦その分と、ある程度がそろってくると。
1:17:30	もう 1 点の視点がアノとはいえまだ足りないよねとっていてそれが仕様表の話になってまして、
1:17:39	仕様表の話については、2-1 で説明をしないといけないものか、2-2 で説明をしないといけないものかっていうのがわかるかなと思ってまして、
1:17:48	それをしっかりと仕分けをするということをステップとして挟まないといけないかなと思ってます。
1:17:54	その上で、今資料 2 では仕様表の項目が全部書き切れているかというところから、正直まだ足りない部分があると思ってましてまずこれを全部書き出すところから、
1:18:06	やる必要があるかなと思ってます。
1:18:09	その上で、よ、資料右下 11 ページですかね、にあるように、これ資料 2 の形なんですけど、
1:18:18	上が資料にした資料 4-1、評価項目一覧表ですけど、
1:18:23	上の方でいう仕様表のが、ちょっと枠が隠れちゃって恐縮ですが、真ん中ぐらいですね、青い枠で、核燃料取扱ヤタと取扱ボックス漏えい液受け皿って書いてあるところ。
1:18:35	こういうところでちゃんとまず仕様表の項目をピックアップした上で、
1:18:40	設計項目でいう構造設計で扱わなきゃいけないようなものと評価で扱わないやっちゃいけないようなものっていうのを、仕分けをしていくと。
1:18:50	そういったものを仕分けをして、この評価の項目を先ほど、
1:18:57	10 ページの①番でやった項目と同じように抜き出してくれば、仕様表の内容も含めて、
1:19:05	評価としては使わなきゃいけないものが漏れなく抜き出せるではないかなと。
1:19:10	いうことを今考えていたところでございます。
1:19:14	ただこれをやるには、11 ページにあるように資料 2 を、
1:19:19	もう一度ちゃんと精査をして、仕様表の項目を全部入れた上で、

1:19:24	構造設計等で扱うニノイチで扱うものかにおいて扱うものかということの、仕分けをしていくと、かつそれを明示的に示していくというステップが、
1:19:34	やらないといけない作業としては発生するというふうに思っていました。
1:19:39	そういったものを全体述べて整理をしていくという作業のアウトプットとしては12ページ以降の共同の形で評価項目の一覧、
1:19:49	ということで、それと、マーケット影響の関係性みたいなものも含めて、全体整理をしていくと。
1:19:56	ということで考えてます。これも基本設計方針の番号ごとに並んでますので、最終的に累計をしようと思うと、どこかの時点で分類額を発生させて
1:20:07	グルーピングしていくという作業を、この杉のステップでやっていくのかなど。
1:20:11	思っていました。はい。
1:20:14	あと機器としてなかなかうまく進みませんが、現状、考えている状況を説明したシマさせていただきました。以上です。
1:20:26	規制庁菅です。それでは規制庁は、これはありますか。
1:20:32	私からちょっと。
1:20:34	そうしますとちょっと具体的話になっちゃうかもしれないんですけど、
1:20:39	11ページのところで、上の段で、
1:20:45	構造設計と評価って分かれていて、評価のところを見ると、増益受け皿の云々っていうのを評価で説明しますで、この青くで困った内容が、
1:20:58	またその資料4の具体として説明されるっていう感じなんですか。
1:21:06	はい。与儀西尾でございますはい。この評価の欄に書いてあることこれの評価のプロセスみたいのが資料4、資料4自体は、今一覧表しか載ってないですけど、その次は
1:21:21	この評価をどういうプロセスでやっていくか、それにはどういう条件が必要でそれを、
1:21:27	類型としてグルーピングした上で、どういうステップで、展開しないといけないのか、以前お話あった評価条件評価方法、許容限界みたいな、
1:21:38	大体同じような形だと思いますけど、そういうのをナベタ食べていってそれをどういうところから引っ張ってきて評価をするんだっていうのが、次の資料4の中の次の表4の②とかで言ったような③か②か忘れちゃったけど、
1:21:51	具体で展開されていくみたいなイメージです。
1:21:54	はい。規制庁亀井です。
1:21:59	こういうのが資料2だと、

1:22:02	こういう観点の評価をしますよって書いてあるものが、
1:22:07	スタッフ資料 4 にいくと仕様表主要寸法とかって何か
1:22:11	考え方が引き継がれていないように見えちゃうんですけど、その辺はちゃんと引き継がれる。はい。宮城の石田でございます。はい。ちょっとこの一覧表としても単純にがたっと集めてくることだけに、
1:22:26	特化してしまったところはおっしゃってて、ここにつなががないと次の資料に行った時のつながりがどんどんなくなっていくので、そうですね分類と添付書類の間に何かこの資料 2 で言ってる評価の考え方みたいのが、
1:22:40	あると、全体がうまく繋がるかもしれません。はい。そこはちょっともうちょっと工夫をします。
1:22:45	はい。規制庁、丹です。
1:22:47	何でそんなこと思ったかっていうと、この資料はそんなでもないんですけど、耐震の今まで、あの前出てきたん 20 来週出てくるじゃなくて、あの会合についてやつなんかを見ると、
1:23:00	構造設計で波及的起こさないように構造設計で説明しますって書いた後に、評価のところで、波及的影響を及ぼさないこと、評価で説明しますと同じこと書いて何もありませんね、これじゃあ、あと 1 もありますよね。
1:23:17	ていうのがあって、何のために作ってるんですかっていうことを、ちゃんと上流から下流にいつ、
1:23:25	いうところで
1:23:27	その辺は忘れずに、
1:23:30	来週出てくるものがどこまでのもので出てくるかもしれないんですけど、はい。またその話をする事になると思います。はい。
1:23:40	はい。あとすいません私の方から、
1:23:43	ちょっとあと、ちょっとごめんなさい、古作です。今の関係って、もうちょっとクリアにしときたいんですけど、設計で、
1:23:54	どこまで話をし、どの部分は、評価の方に、先延ばしにするのかと。
1:24:01	いうことがクリアになるように文章を変えていかないとっていうことかと思うんですけど。
1:24:10	今の波及的影響で、例示で言われたようなことからすると、
1:24:15	どんな影響を考えてますか。
1:24:18	それをどう、
1:24:22	扱っていきますかぐらいは、設計で明確にして、評価どういうことをやると、いうことはクリアにする必要があるんだろうなあとと思うんですけど。
1:24:39	はい。乳井西原でございます。はい
1:24:43	おっしゃっていただいている添付書類の、

1:24:48	内容での展開からしてもあれですよ。
1:24:51	今回プラスの波及影響だと、四つの観点から確認をしますみたいなので、
1:25:00	離隔をとるとかいろんな観点があった上で、具体的な設計にまず反映すべきところがどこかって評価ではそういう、どういう視点でそれを影響がないということを確認するんだみたいのが、
1:25:12	それぞれ紐つくような形で設計側と評価側がリンクをとるということが、必要なかと思いますがそれ
1:25:21	そうですね。上手く書き入れてないところも多分あると思いますそこはどんどんどんどん具体的な紐付け本当にこれで紐付けてきてるのか、設計データに説明するのか伝わるのかみたいなことを、展開をして、
1:25:36	レベルアップしていくということが必要だと思いますのでそういう視点でも見ますし、そういう議論もさせていただければと思いますはい。
1:25:48	プラス、そういうことをしないといけないっていうことの視点が来ドイないと駄目だってことですかねはい。そこも含めて整理しますはい。
1:25:58	はい、そうです。まさにですね、
1:26:02	表設計と評価を並べて、こういうふうに関係が張られるんだなっていうことがわからないとそれぞれで書いていけない。
1:26:12	今の波及影響で、大枠で
1:26:17	ぱっと思いつくところでいうと、転倒防止で対応するというのであれば、
1:26:29	どこでその転倒防止の策を講じてるのか、有井で講じてる削減の
1:26:37	が妥当であること、その部材の健全性ということを評価で説明するというふうに繋がるものですし、離隔だけで取るっていうのであれば設計の範囲で、配置設計で説明がついてしまうと。
1:26:54	配置設計プラスあれですかね。
1:26:56	ものによっては
1:26:59	加害者側の構造設計とか、
1:27:01	というようなこともあるかもしれないんですけど、
1:27:04	今そういったところでの説明になってるということ。
1:27:09	一方で、転倒防止じゃラック破損防止、全体の破損防止までいくのであれば耐震評価が必要になる。
1:27:19	ということ等で、その受けとしてこの部分でこういう評価を入れますっていう説明が評価が間に合って、
1:27:27	いう感じかなとは思っているので、その関連性が、こういう
1:27:33	こういうふうになりますということになるべく見えるようにしていただいて、今波及影響の例示で、さらに例示で話しましたが、

1:27:43	そういった配慮がこういうパターンだとこうだよねこういうパターンだとこうだよねっていうのを、礼状をある程度体系づけて、
1:27:54	やっていくってことをしないと、安定していかないかなと思うんですけどそこら辺とこういうものがあるよねっていうのは、
1:28:03	を上げてくのがこのタスクなのかなと思って。
1:28:06	ていたんですけどどのフェーズでそういう話ができるんでしょうか。
1:28:10	はい、西田でございます。はい。ちょっとどこで。はい。そうですね。
1:28:16	これの中で、
1:28:20	評価の話を正しく紐づけてくるので、それとどうリンクしてというのも含めて、
1:28:28	ちょっとサンプルを集めて整理をすることも、この中でやらせていただきますかとどのぐらいで、
1:28:40	27 億なあ。
1:28:44	ちょっとどのタイミングでできるかも、スケジュール感、別途お示しをしますはい。考えます。はい。
1:28:51	はい。コサクですっていうのがですね、今日のやつだ等、
1:28:57	藤。
1:29:00	1 ポツ 2 ポツ 3 ポツと言ってるんですけど、
1:29:04	ここで言ってる 1 ポツは、
1:29:07	説明すべき項目っていう表現は、
1:29:13	文章の中の文言というよりは全体を指している言葉だと思うので、
1:29:20	そうすると具体の評価項目なり、
1:29:25	条件というところにまでは落ち込まなくて、今みたいな議論できないかなと思ってるんですね。で、そうすると 2 ポツっていうことになって評価法評価条件等の各項目と、
1:29:39	いうところになってそれで出てくるものを累計とってみてと。
1:29:44	いうことになるのかなあと思う。
1:29:46	思うんですけど。
1:29:49	今日の 12 ページ、
1:29:54	わあ、
1:29:54	そのイメージよりはちょっと細かくなってて有限要素モデル市連携モデルとかって細かい話が入っていつつ、
1:30:02	細かいと言いながらも中途半端なので、
1:30:05	これをもって何を説明したいのかとか、
1:30:09	評価はどれだけそれに向けて、

1:30:11	評価でね設計の方でどうでそれを受けた評価って何でっていうのがわからなかったりと。
1:30:17	いうので、今回公表ばっとつけてもらったのはいいんですけど意味がわからない。
1:30:22	ですよ。
1:30:23	1 ポツでやること 2 ポツであることみたいなこと含めなんですけど、その辺りはどうしていきますか。
1:30:29	はい。五味ニシダでございます。まず、
1:30:33	この資料 4 にかかるゴールと、あと、1 ページで打越みこさんポツで、やること、それぞれのアウトプット、こんなことをということを、
1:30:46	まずちゃんとつくります素行を作った上で、おっしゃっていただいたように最後につけてる表は、
1:30:53	評価っていう項目を資料 2 から現状抜き出してくるとこんなものがピックアップされますというのを仲田ナベタだけなので、これが 2 ポツに繋がるかという繋がりませんし、
1:31:06	先ほどカミデさんのご指摘もありました、コサクさんから言われた構造設計なりとの評価の関連性、あと評価でどういうことをやるのだと、いうことのイメージもわかりませんので、そういうことをちゃんと整理をしていくステップをまずちゃんと書いて、
1:31:23	その上でアウトプットのイメージもつけて、次回説明できるようにまずします。はい。
1:31:31	はい、長田ですよろしくお願いします。
1:31:36	11 ページの例示でいうとですね、漏えい液受け皿高さというのが、許容限界ということで設定されてて、
1:31:50	下の図に行く等、許容限界という意味合いから、
1:31:56	説明する内容としては、今日必要容量だと。
1:32:01	ということになる。
1:32:04	その必要容量、
1:32:06	許容限界を満足してるかどうかという判断は、ここではなくて、
1:32:12	構造設計でしちゃうってことですかね。
1:32:17	はい。弓削ニシウラでございます。はい
1:32:21	その関係性ですねここも十分整理をしないといけなくて高さを協議会で決定すればなぜそのタカダでいいんだっていうところの、一定の説明を構造設計にしておかないと、
1:32:35	駄目だなというところがあって、11 ページで言うの表の資料 2 の構造設計側に、

1:32:43	そういう地震のみで起こすと、特別に考慮する構造設計としてバタバタさ、
1:32:49	高さを設定することは要領の説明しているのが変わらないので、そこについての考慮事項を説明しますという展開に整理の仕方をさせていただきました。
1:33:00	はい。補足です。これ
1:33:03	入口出口が逆転するような話に、こういうものだとなって、
1:33:10	構造設計D、
1:33:13	今後説明しますけど必要容量は恒例です。
1:33:17	いやこういうような見積もり方をして出てくる要領。
1:33:22	に対してもつようにということで、ここだとこの両名で高酒匂、
1:33:28	高酒匂というふうになるので構造としてはこうしてますと。
1:33:32	いう説明をして、その設定してる具体は評価の方で説明しますと、その方針に則って評価をしていきますということを説明をしていただいて、
1:33:45	2-2 で具体をお話していた。
1:33:48	いうゴトウだと思うんで、
1:33:55	そういうパターン有的时候にはこういうふうに設計で1、表現しましょうね。
1:34:00	それがぶれないように評価でしっかりと受けましょうと。
1:34:06	ということだと思う。
1:34:10	ます。いわゆる設定根拠の関係でやる一つのパターン。
1:34:15	で、その趣旨で、また全体を見渡してまとめてもらえれば、それをいつ谷ポツでやるってことにやっぱりなるんですかね。
1:34:27	ですと思いますはい。ちょっとそこもうちょっとどういうところ、1ポツなのか2ポツなのかも含めて整理をします。はい。
1:34:34	はい、そうです。よろしくお願ひします。あとは確認したいのは今の11ページで、仕様表っていう視点をしっかりと押さえますっていうのは結構なんですけど。
1:34:49	これで足りてるのか。
1:34:52	記載漏れないかっていうチェックをするんだと思うんですけど。
1:34:59	現状だとあれですかね、足りてなかったらここで入れればいいよねと、このフォーマットで書き切れるよねっていう見通しでいるっていうのもいっぱいいいですか。はい。日本原燃瀬谷でございます。はい。
1:35:10	そのつもりでいました。はい。
1:35:15	はい、わかりましたそれであれば潰し込んでいる様なりをどう説明するのかっていうのを少し考えといてもらえますか。はい。ありがとうございます。はい。そうですね

1:35:29	を避けたように、ここ欄にどういうものを書くかってのは、仕様表ごとに、仕様表の各項目欄が、どの条文のどの要求でこれを書いているかって紐づけをして全部こう、
1:35:44	渡す場所を決めた上での展開をしていって、抜け漏れないよねみたいなことをやらないと、全体、足りてるかどうかのチェックができないんで、そういう考え方も含めて、
1:35:55	整理をしてお示しができるようにしますはい。
1:36:01	はい、古作です。よろしくお願ひしますそれで、抽出漏れがなくそれぞれが必要な場所で登場する形になり、それがインプット側のパッド側なのかということで、
1:36:15	の扱ひも 11 ページの上のところに記載ぶりでもわかるようになり、
1:36:21	それを受けての、下の図での
1:36:26	具体的にこういう説明が必要です。今、
1:36:29	負担にこういう説明が必要になるってということがわかると、類型をとってこういうパターンのもはこういうふうの説明していきます代表はこれでやりますということに繋がるのかなと思って、
1:36:42	てますので、そこら辺が 3 ポツで、
1:36:48	わかって、添付書類なり、補足なり、或いは共通 12 の資料読んでということだったりの記載レベルと、
1:36:56	いうのを議論していけるってということだと思いますのでよろしくお願ひします。認識合ってますよね。はい。2000 円でございます。はい。
1:37:04	まさしくだと思う。
1:37:05	はい。対応させていただきます。はい。
1:37:14	規制庁鏡です。
1:37:16	言わなければ、
1:37:18	ちょっと 12 ペー
1:37:20	ジが、何話今日お話ししたいんですけど、結構思ったんですけど、今の話であんまりってことであって、
1:37:28	だから、私の守備範囲ではあるんですけどあんまりこうガチガチ見る必要はないとは思いつつ、
1:37:35	あれですかね、解析評価等の説明すべき項目、
1:37:39	この縦軸ぐらひは、
1:37:43	今日ではないにしても、ちょっと認識を合わせないと。
1:37:46	その会合で説明するようなポイントになりそう。
1:37:52	いや、はい。
1:37:53	ということであれば、

1:37:55	そんなに、こんなもんかなって気もしてますけどね。ただ有限要素として形で、
1:38:03	何が違うんだっていうと、あんまり違う感じもしないし、教授、強い感覚も結局梁モデルと思うと、設計として示すことにどこまでこうあるのか。
1:38:16	よくわかるんですね、一方で
1:38:20	機能維持の関係で、
1:38:25	単純に構造強度で評価する等、動的機能維持みたいな、あと電氣的機能維持とかあるじゃないですか。遮へいとかもあるし、
1:38:35	そういう意味でいうとそういう部分で、もしかしたら必要になるかもしれないというのが、今の感想、引き続きっていう、
1:38:48	はい、西田でございます。ありがとうございます。ちょっとベースも含めて、先ほど3点含めて、
1:38:56	定義を進めます。はい。
1:38:59	規制庁菅です。今の機能維持っていう土佐派遣も一緒に、派遣は要は頑張っ、耐えて大丈夫ですとピックアップして、そのままでも
1:39:10	どうやって機能維持、悪影響を与えないっていう、
1:39:13	あと守る価値戦略の一つですからどっちかっていうとそっちでわかりそうな気もしてですね。はい。
1:39:20	他、
1:39:21	耐震、別添2関係で規制庁がありますか。
1:39:31	はい。特になければ、あと最後スケジュールですか、説明することはない。
1:39:39	はい。
1:39:43	前回、反映しきれてなかった。
1:39:50	設計パスの運用改善の部分は、10、
1:39:55	1月ですかね、どっかに今させていただいています。
1:40:00	プラス
1:40:02	ちょっと私、ハウジョウでよかったですけど、10月の17にやらさせていただいて、DSの面談。
1:40:09	これも、次の打ち返し、11月の上旬とお約束をした、危惧してましてこれも別途、
1:40:18	日程を、ご連絡をさせていただきたいと思いますまた積み上げてませんので、
1:40:24	今後入れていきます。

1:40:27	あとは前回から、あとは共通要因関係もオクサトウ説明グループ 1 は 1 年、ヒアリングは組まさせていただいてますが状況を見ながらまた変更があるかもしれません。
1:40:40	あとは 11 月の 1 日ですかね、安全性向上評価委員会面談、これも別アイテムとして必要な案件、入れさせていただいているということでございます。
1:40:51	はい。スケジュールの説明です。
1:40:55	規制庁、丹治です。
1:40:57	今日の話をつまえると、その耐震の補足関係はちょっとまた整理、23 日に、
1:41:06	出すと言っているものも、多分 0 災害はあまり関係ないそうなので、それとは一方であれなんですよ。ええ。
1:41:16	この辺が関係しそうだと思ってますっていうペーパーは、まず 23 日にあつて、
1:41:23	はい。
1:41:24	で、あと、多分 26 日と 27 日のすみ分けで、
1:41:31	26 にも耐震の話がありますけど、
1:41:36	もう、
1:41:36	いや、そんなの金曜日でいいんじゃないのって感じがしますが。はい、西田でございます。はい。そうです。すいません、同じ項目をペタペタ貼ったらやってますけどはい。
1:41:46	閉じ込めから初めて耐震、どこかで固めてくれば 27 年の方でも大丈夫だと思います。はい。
1:41:54	はい、規制庁カミヤズまずはそので、
1:41:58	でもそれで、どのくらい時間ですかね。すごい思っちゃいます。
1:42:03	ご案内ですね。はい。金曜日に耐震関係という感じで、スケジュール、
1:42:16	はい、規制庁コマツほか規制庁側からスケジュールで確認あります。
1:42:22	迫です。先ほど SSS 数の 11 月上旬っていうことを言っていたんですけど、
1:42:31	その面談ではお話しませんでした、次の段階では設工認でのその設計プロセスとしての連携の話だとか、
1:42:43	影響評価の話だとかっていうのをしていくという必要があつて、特に設計の配慮っていう関係でいうと、現状の共通 12 で、
1:42:56	まだ十分できてないというのは早急に対応をとらなきゃいけないような気がするんですけど、その進め方ってどう考えております。
1:43:05	はい。弓削西原でございますはい。

1:43:10	まずもっておっしゃる通り、まずできてないところがあります
1:43:16	そうですね。すいませんまだ関係。
1:43:20	ノーアイデアに近いのでちょっと考えなきゃいけないと思ってますんでパッチ当てで 19 ページの第セキネとさらに下位クラスにSGの機器も含めて入ってなかったところ、
1:43:31	立たないとかってところは手当をしようと思ってましたが全体の要求事項としてそもそも以前あった生産上の要求事項だけではなくて、上流側での要求事項ってほかにもあるやろうというところの中の 하나가、
1:43:45	SGだったりPPだったりの、他の案件これを、との相互影響みたいなのを考えなきゃいけないっていうのが、最も上流にもある状況要求なので、
1:43:57	これを、資料 3、資料 2 も含めて、
1:44:01	リンクを取って、どういうところがそこに紐づくのかということを整理しないとイケないと思ってます。
1:44:08	要は、認識があります。これちょっと整理の仕方だったりスケジュールか。早急に示したいと思います。はい。それがまさしく今言っていたSSSの。
1:44:20	MOX側でもともと案件や、
1:44:23	懸案に挙がってた手続き等安全設計側の機器の影響、総益を考えながらの設計を組み立てていってところだと思いますので、
1:44:33	はい。すいません具体的にどういうステップで何をやっていくかが示せないなので、早急に整理をしてお示しをします。はい。
1:44:42	はい。コサクです。それで言う等、大枠で言えば、来週 24 日の共通 12 の作成ガイドのヒアリング
1:44:52	いうことで具体については 2627 の、
1:44:56	ボックスグループ一井での資料に資料 3 のヒアリング、
1:45:02	いうところが直近だとありますので、その際に、
1:45:09	現状での検討の内容とかです説明していただけるように、準備を進めていただければと思います。その中で議論しているということも含めて、
1:45:25	11 月上旬のⅢ数の面談においても、
1:45:30	どう検討を進めていくのかと、いうことをまとめていただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:45:37	はい、与儀西原でございますはい。
1:45:43	規制庁深見です。私もすれば聞こうと思って耐震記念 03、
1:45:48	アイスGの話が、

1:45:50	何かそんな生々しい話をするつもりもないんだろうと思いつつ、どれぐらいのメッシュ間ここで説明するのか。はい。すいません合体させると言いながら、まず、正直ベースで言うと、以前、
1:46:05	共通 08ー2 っていうのでボックスが第 2 回始まったときに、共通 8 シリーズのパートを出したことがあってですね、その
1:46:17	添付 13 か 14 かちょっと私の記憶合わせましたがその中に、
1:46:21	SGPの機器の配置だったり、それぞれの構造がどうなってるみたいな、
1:46:28	関係性を示したのがあるんです。まさしく、
1:46:32	案いうの安全機能を有する施設の条文で、第 1 回の時に相互影響を考慮してっていったところを具体的に示したのなんですよ。
1:46:42	あれは 1 と、あと構造も含めて示した上でこういう相関関係がありますよ、なので総合影響的にはこういうことを考えなきゃいけません。
1:46:51	さっきの波及影響もですね倒れない、近くにあるんでこいつが影響をサノにこれはセガワのが大で頑張ってる倒れないようにしますみたいなことの、
1:47:01	設計上の配慮事項を書いたものがあるんですけど、
1:47:04	そういったものを、じゃあ、耐震基準では 2 本って含めるかっていうと、耐震基準で予算上は、上位クラスの配置があって表がきて、上位クラスの機器の近くにある下位クラスの機器があって、
1:47:17	円筒落下か何かで、影響は恐れがあるかないかで丸がついてて、最終的には影響評価で確認しますって書いてあるだけで終わってるので、ちょっとコラボするにもちょっとベッショが大分違うなというところは、どうしようかっていうのが、正直今のベースはまだ悩んでる。
1:47:33	入れようかなと思いつつも、やるとすると同じように下位クラス近くにある下位クラスの機器っていう、2、今、安全設計が安全機能を有する施設書いてますけど、
1:47:43	その中にもう一つ、SG関係の機器がこんなのがありますみたいなを書いて、
1:47:48	それぞれ、表とかパッケージをまず同じようなベースで合わせていくっていうのが、23 日、6 日ダテ 23、出せるぐらいのベースかなと思ってます。
1:47:59	はい。清長官、水間でてくるなら、すごいマスキングだけのCRなっちゃう。
1:48:08	この耐震のヒアリングメンバーで見ているレベルの話だけなのでとりあえずはと思いつつ、最終形は何かそこまででもないのかなという気もしていて要はちゃんとやっていますよっていう理由も含めてちゃんとやっています。

1:48:24	IPも受けるがワダイトカワ両方ちゃんとやってますっていうのをプロセスをちゃんと説明してもらうぐらいじゃないかなと、そういう意味で言うと今、
1:48:34	ゼロさんなんかチェックシートとかつけてもらっててこんなふうにやりますって書いてますけどあれじゃあPPオーエスジも拾えないんですね。なんで、それはこういう取り組みでやってますよみたいな。
1:48:47	ことの方が我々としては確認、押さえておきたいと思ってなくて、また来週、ヒアリングで話ができる。
1:48:57	はい、西田でございます。はい。終了いたしました。
1:49:04	はい、規制庁かみずほはスケジュール関係ないですか。
1:49:10	はい。特になければ、あと前提として何か確認漏れ等あればお願いします。
1:49:20	はい。
1:49:21	長カミデ特になければ、
1:49:23	振り返りと言ってもあれですけど、をいただければと。
1:49:26	思います。
1:49:28	はい。
1:49:31	ます。
1:49:35	本文と別添の関係で整合がとれてない部分、特に設計説明文の説明グループの設定の関係のところは、全体整理をするということ。
1:49:47	あとは共通 12 抜けて再処理のですね共通事務決定の、
1:49:54	流れだったリスケジュールか。
1:49:56	ことも含めて、ケース 2 でやったとしても
1:50:00	12 月上旬、遅くとも 12 月上旬には供給する。
1:50:03	12 のアノグループ 1 月最初の部分が、
1:50:07	内容、スケジュール的には、合わないなというところは認識をしましたので、そういうことも含めて全体何を具体的にやっていくのかというタスク間の影響も含めて、整理をする。
1:50:21	です。はい。あとは、2、
1:50:27	参考 2 の個別補足の件は、全体、もう一度ちゃんと見てですね、まず共通順位を説明する上でベースに本当にいるのかいないのかっていう関係性も含めて、
1:50:39	整理をするということと、あと 2-1 なのか 2-2 なのか、どういう仕分けにするかどうか、そう考え方をちゃんと作って、お示しをされたようにそれを、
1:50:50	全体に展開していくということをやらせていただく。

1:50:54	ということかなと思ってました。
1:50:56	3、
1:50:58	3コースにつきましては、例えば 08 の
1:51:03	対応方針ですね、これ舞台にやるのがわかるようなものを、今の対応方針作ってるものを、につきましてきちっとわかるような形でキタニシノダヒガシフジサキいただきます。以上です。
1:51:18	はい。佐藤。
1:51:23	協調授業、浅井主事が出すにしても資料 1 も含めて全体のやらないといけないことを分析し、課題として抽出した上で、体系化していくと。
1:51:36	ということが先に資料 1 の関係で話題が出ましたけどそういうこともしっかりと展開をしていくと。
1:51:41	ということかと思ってます。
1:51:44	はい。あとは別添 2 資料 4 の話が、123 と書いてある 9 ページのそれぞれのタスク項目の内容、どういったところをやるのかという具体的なプロセスであったり、
1:51:57	アウトプットのイメージということ、あとは、11 ページ、資料 2 とかでいう構造設計とかの設計等、評価のコラボの時の、どういったパターンがあれば、
1:52:09	そういったことの整理ということも含めて、どういった展開でそれぞれアウトプットにつなげていくのか、類型含めて、整理をしていくところの流れが、ちゃんと整理をするということが、
1:52:23	課題だと思ってますんでその絵をつけていきたい。ブラッシュアップしていきたいと思ってます。
1:52:30	そうです。
1:52:32	はい。
1:52:34	あとは最後で受領時出ましたそれES関係で行っていた
1:52:40	安全設計以外の上流様。
1:52:43	のところの影響通常イデの展開の仕方、
1:52:47	これについては、考え方を整理をして、24 日だったり、26 からのヒアリングで、担当会を会話ができるというかこういう式集め方でいきたいというのが、説明できるようにさせていただきます。はい。
1:53:02	以上だと思います。
1:53:05	はい。
1:53:05	規制庁亀井です。衛藤。
1:53:08	半田。

1:53:09	最初の補足の話参考 2 は、2-1 か 2-2 かちゃんとしていう話でしたけど、多分ほとんどかぶるんですよね。大事なのは
1:53:21	どっちかに編入されて、抜けちゃうっていうことがよくないんで、別に
1:53:27	そういう視点で整理してもらえれば、2-1-3 の方へ多分関係するものは、耐震の場合はもうほとんどそんな感じだったり、はい。はい。
1:53:39	他振替について規制庁側から何かありますか。
1:53:46	はい。特になければそうですか。エミハセガワです。先ほど耐震 08 の対応方針、
1:53:53	メッシュを少し細かくして、具体的にしているというヒアリングですけども、ちょっと時間割としてナカ切り、切り分けてやらしてもらってもよろしいですか。
1:54:04	第 1 部第二部かもしれないんですけども、
1:54:07	進め方ヒアリングの中に無理やり組み込むんじゃないで、城田はい。
1:54:12	わかりました。事業として、資料としては進め方ヒアリングの中にもあるわけですよね。
1:54:19	ヒアリングの日も時間も、資料もどう分けてもらっても構わないです。はい。実質的に火曜日みたいですよ。セットします。
1:54:31	はい。はい。教えてください。
1:54:34	効率的にできる、
1:54:39	古作です。私もそれで結構です。メンバーも、Steeringチーム全員というよりは、逆に耐震の他の支援者も含めてっていう方がよければそれでもいいですし、
1:54:48	はい、やりやすいようにしていただければということです。はい。
1:54:55	はい、規制庁上津他全体としてよろしいですかね。
1:55:00	はい。それでは本日の標準が増えております。お疲れ様でした。ありがとうございました。